

日本遺伝子細胞治療学会(JSGCT)

Japan Society of Gene and Cell Therapy

法人賛助会員

入 会 御 依 頼 書



日本遺伝子細胞治療学会(JSGCT)

理事長 藤堂 具紀

日本遺伝子治療学会年次集会のあゆみ

第1回 JSGT 学術集会 (平成7年)	会頭 高久 史磨
第2回 JSGT 学術集会 (平成8年)	会頭 岡田 善雄
第3回 JSGT 学術集会 (平成9年)	会頭 寺田 雅昭
第4回 JSGT 学術集会 (平成10年)	会頭 豊島久真男
第5回 JSGT 学術集会 (平成11年)	会頭 三輪 史朗
第6回 JSGT 学術集会 (平成12年)	会頭 香川 靖雄
第7回 JSGT 学術集会 (平成13年)	会頭 大野 典也
第8回 JSGT 学術集会 (平成14年)	会頭 村松 正實
第9回 JSGT 学術集会 (平成15年)	会頭 浅野 茂隆
第10回 JSGT 学術集会 (平成16年)	会頭 松田 一郎
第11回 JSGT 学術集会 (平成17年)	会頭 衛藤 義勝
第12回 JSGT 学術集会 (平成18年)	会頭 島田 隆
第13回 JSGT 学術集会 (平成19年)	会頭 吉田 純
第14回 JSGT 学術集会 (平成20年)	会頭 新津洋司郎
第15回 JSGT 学術集会 (平成21年)	会頭 金田 安史
第16回 JSGT 学術集会 (平成22年)	会頭 小澤 敬也
第17回 JSGT 学術集会 (平成23年)	会頭 谷 憲三朗
第18回 JSGT 学術集会 (平成24年)	会頭 遠藤 文夫
第19回 JSGT 学術集会 (平成25年)	会頭 藤原 俊義
第20回 JSGT 学術集会 (平成26年)	会頭 斎藤 泉
第21回 JSGT 学術集会 (平成27年)	会頭 森下 竜一
第22回 JSGCT 学術集会 (平成28年)	会頭 大橋 十也
第23回 JSGCT 学術集会 (平成29年)	会頭 那須 保友
第24回 JSGCT 学術集会 (平成30年)	会頭 小野寺雅史

当会名称改定 (於・JSGT2015 学術集会総会承認)

「日本遺伝子細胞治療学会：Japan Society of Gene and Cell Therapy(JSGCT)」に変更された

名称以下、改定 (於・JSGT2015 学術集会総会承認)

【法人賛助会員 入会の御依頼】

謹 啓

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より多くのご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて御承知の通り、近年のゲノム研究の急速な発展に伴い遺伝子治療研究並びにその臨床への応用も諸方向から進みつつあります。特に遺伝子治療臨床研究におきましては1989年より欧米を中心に進められてきましたが、2000年前後に遺伝子導入ベクターを原因とした有害事象が2件発生し、一旦臨床研究が停滞した感がありました。しかし、実際にはその間ならびにその後も世界中で遺伝子治療研究は着実に進歩してきており、臨床の分野では中国で悪性腫瘍に対するp53遺伝子治療薬が承認され、欧州ではアデノシンデアミナーゼ遺伝子治療薬やチミジンキナーゼ遺伝子治療薬がオーファン薬として承認されています。本邦におきましても閉塞生血管疾患に対する遺伝子治療薬が承認申請待ちの状態にございます。また基礎研究分野でも多くの新しい知見が積み重ねられてきています。

このような状況の中、御蔭様で日本遺伝子治療学会(JSGCT)は本年24周年を迎えることができました。これも偏に皆様方のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。今後、JSGCTが遺伝子治療の発展を支える本邦の優秀な研究者、臨床医、企業の最新情報交換の場としてこれ迄以上に極めて重要な役割を演じることは確実です。

JSGCT事務局におきましてはこれまで本会運営に関わる費用を最小限に留める努力をし、円滑かつ評価に値する学会運営に務めて参りましたが、今後さらに本会を維持、発展させて行く上での資金面で困難になってきております。

貴社におかれましては出費多端の折かとは存じますが、今後の本邦におきます遺伝子治療の発展に是非ともご理解ご支援賜りたく、JSGCT法人賛助会員へのご入会をご検討ご高配のほど何卒よろしく御願い申し上げます。

末筆にあたり、御社の益々のご繁栄を祈念致します。

敬 白

平成30年9月吉日

日本遺伝子細胞治療学会(JSGCT)

理 事 長 藤堂具紀

副理事長 岡田尚巳

森下竜一

他、理事一同

当会名称改定 (於・JSGT2015 学術集会総会承認)

「日本遺伝子細胞治療学会：Japan Society of Gene and Cell Therapy(JSGCT)」に変更された

【日本遺伝子治療学会 概要】

別紙、日本遺伝子治療学会会則をご参照下さい。

【活動計画】

2009年度

第15回日本遺伝子治療学会年次学術集会開催
会 長：金田安史 大阪大学大学院医学系研究科 教授
会 期：平成21年7月9日(木)～11日(土)
場 所：大阪大学コンベンションセンター 吹田市

2010年

第16回日本遺伝子治療学会年次学術集会 開催予定
会 長：小澤敬也 自治医科大学大学院 教授
会 期：平成22年7月1日(木)～3日(土)
場 所：栃木県総合文化センター 宇都宮市

2011年

第17回日本遺伝子治療学会年次学術集会
会 長：谷憲三朗 九州大学生体防御医学研究所 教授
会 期：平成23年7月14日(木)～16日(土)
場 所：九州大学医学部 百年講堂 福岡市

2012年

第18回日本遺伝子治療学会年次学術集会
会 長：遠藤文夫 熊本大学医学薬学研究部 教授
会 期：平成24年6月28日(木)～30日(土)
場 所：ホテル熊本 テルサ

2013年

第19回日本遺伝子治療学会年次学術集会
会 長：藤原俊義 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授
会 期：平成25年7月4日(木)～6日(土)
場 所：岡山コンベンションセンター

2014年

第20回日本遺伝子治療学会年次学術集会
会 長：斎藤 泉 東京大学医科学研究所 教授
会 期：平成26年8月6日(水)～8日(金)
場 所：東京慈恵会医科大学(大学1号館)

2015年

第21回日本遺伝子治療学会年次学術集会
会 長：森下竜一 大阪大学大学院医学系研究科 教授
会 期：平成27年7月24日(金)～26日(日)
場 所：大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)

2016年

第22回日本遺伝子細胞治療学会年次学術集会
会 長：大橋十也 東京慈恵会医科大学 教授
会 期：平成28年7月28日(木)～30日(土)
場 所：虎ノ門ヒルズ フォーラム (開催地：東京)

2017年

第23回日本遺伝子細胞治療学会年次学術集会
会 長：那須保友 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授
会 期：平成29年7月20日(木)～22日(土)
場 所：岡山コンベンションセンター(開催地：岡山)

2018年

第24回日本遺伝子細胞治療学会年次学術集会
会 長：小野寺雅史 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター・成育遺伝研究部 部長
会 期：平成30年7月26日(木)～28日(土)
場 所：虎ノ門ヒルズ フォーラム (開催地)

JSGCT 事務局 事務部門行き Fax:043-306-5664

当会名称改定(於・JSGT2015学術集会総会承認)

「日本遺伝子細胞治療学会：Japan Society of Gene and Cell Therapy(JSGCT)」に変更された

日本遺伝子細胞治療学会
法人賛助会員申込書

申込日 年 月 日

日本遺伝子細胞治療学会の法人賛助会員にお申込いたします。

*企業・施設名 : _____
代表者名 : _____
*住所 : 〒 _____

*TEL : _____ FAX _____
*URL : <http://> _____
ご担当者 部署名 _____
ご担当者 氏名 _____
(ふりがな) _____
email: _____

※法人賛助会費（年額）：100,000 円

※会計年度：自・各年4月1日～至・翌年3月31日迄。但し、入会月により次年度のご請求は
ご入会月から起算して、入会月を含む12ヶ月後より適用されます。

※法人賛助会員名本会ホームページ・トップページ上にリンクの掲載。

※法人賛助会員のお申込みについて、

本申込書に必要事項をご記入の上、JSGCT事務局・事務部門宛にFAXしてください。

事務局にてお申し込み確認後、折り返しご連絡させていただきます。

日本遺伝子細胞治療学会事務局
事務局長：大橋十也（東京慈恵会医科大学）副事務局長：大津 真（東京大学医科学研究所）
事務局所在地：〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8
東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 遺伝子治療研究部・内
各種お問い合わせ：事務部門 学会運営事務局合同会社
Tel.:043-237-3435、Fax.:043-306-5664 Email:jsgt@js9.so-net.ne.jp <http://jsgt.jp>